



としょかんだより

鹿兒島市立伊敷小学校図書館 令和6年1月22日



新しい年を迎え、3学期がスタートしました。みなさんはどんなお正月を過ごしましたか。正月は、年の初めに年神さまを迎え、新しい年の幸せを祈る行事です。現在でも、お年玉やお節料理、門松など、むかしからのしきたりがたくさん残っています。それぞれのしきたりには、すべて理由があります。日本ならではの伝統行事をこれからも大切にしていきたいですね。



★ 寒い冬の必需品、大集合！絵本で心もぽっかぽか♪

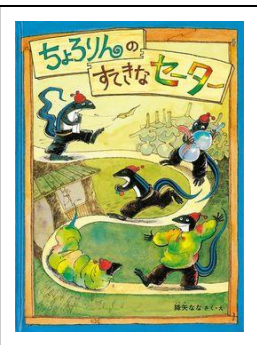
寒い季節に私たちが暖めてくれるものといえば、外出時にはコートやセーター、マフラーや手袋……。家の中では、こたつや湯たんぽや毛布やお風呂。それから温かい飲み物も体にしみわたりますよね。読めば、心までぽっかぽかしてくるような温かいお話を紹介します。家で読んでみませんか？

ちよろりんのすてきなセーター 降矢なな／作（福音館書店）

とかげのちよろりんは町の洋品店で、暖かそうなセーターを見つけました。でもお母さんもお父さんも「セーターなんかありません」というばかり。おこづかいの貯金もたりないので、ちよろりんはランプづくりをしているおじいさんのところで、ランプのガラス磨きの仕事をすることにしました。夜通し働いてもらったお金をもって、セーターを買いに行くと、それはヘビ用で……。

わたしのゆたんぽ きむらさとし／作（偕成社）

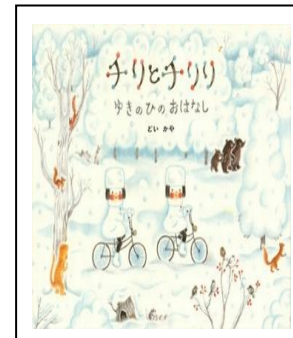
ちょっと懐かしい感じがするけど、実は今でも変わらず人気があるのが「ゆたんぽ」。お布団に入った時に冷えちゃう足を、優しく暖めてくれます。この絵本の主人公の女の子もゆたんぽが大好き。でも、ゆたんぽは女の子の冷たい足が苦手みたい。いつも女の子の足とお布団の中でたたかって、押し込まれて降参。それから女の子はゆっくり眠りにつくのです。ところがある晩のことです。ゆたんぽは、ついにお布団の中から逃げだしました！



ぎょうじ ぎしき
行事や儀式の「なぜ？」がわかる
にほん えしてん
日本のしきたり絵事典
いしょくじゅう ねんじゅうぎょうじ
～衣食住から年中行事まで～
たけみつ まこと かんしゅう ふかみつ ふじお ちよ
武光 誠 / 監修 深光 富士男 / 著

カウンター近くに
展示しています。

この本を読むと、昔ながらの行事の意味や由来がわかります。「初日の出と初詣」「縁起のいいおせち料理」「節分の豆まき」「彼岸とは」などいろいろなしきたりを知ることができる1冊です。



チリとチリリ ゆきのひのおはなし 土井 かや／作（アリス館）

お散歩が大好きなふたり、チリとチリリ。今度はどこに出かけるのでしょうか。自転車で乗って、ふたりは森に向かいます。こおった池を通り過ぎ、どんどん進んでいくと、そこに見付けたのは氷の扉。待っていたのは…ずっと私が夢見てきた氷に囲まれた世界!! ホットフルーツパンチでおもてなしを受けた後は、氷のろうか、氷の大広間、氷に囲まれた温泉!そして…。

図書館からのお知らせ

※3学期の貸し出し

・1月15日(月)から始まりました。今年もいろんなジャンルの本を読んでもらいたいので、

※あたらしい本がはいりました。

・1月25日(木)昼休みより貸し出しを始めます。お楽しみに!くわしくは、図書館でチェックしてね。

